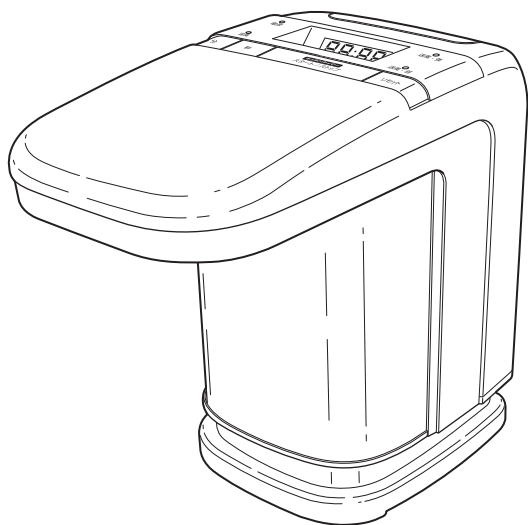


ハンドドライヤー KAT-0550

取扱説明書 (保証書別途添付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意	1~3
知っておいていただきたいこと	4
各部のなまえ	5~6
設置のしかた	7
ご使用前の準備	8
正しい使いかた	9~10
手の乾かしかた	9
キッチンタイマーの使いかた	10
お手入れのしかた	11
保管のしかた	12
故障かな?と思われたときは	12
仕様	13
別売部品について	13
アフターサービスについて	14
お客様の個人情報のお取り扱いについて	15
お客様相談窓口	15

このたびは、コイズミ ハンドドライヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。


なお、保証書は別途添付されています。お読みになられた後も、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

●特に1~4ページの「安全上のご注意」と「知っておいていただきたいこと」を必ずお読みください。

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

 **注意** 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



●故障・異常時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・運転中に異常な音や振動がする。
・電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。
・こげくさい臭いがする。
※このような症状のときはすぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ点検、修理を依頼してください。



●改造はしない。修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。









●引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない。
爆発や火災の原因となります。

●吹出ノズルやすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。
感電や異常動作してけがをすることがあります。

●電源コードを束ねて使用しない。
発熱による火災の原因となります。







●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因となります。

⚠ 警告

	<p>● 次のような場所で使用しない。 ・ 温室や浴室、屋外など高温・多湿・水のかかる場所 ・ ガスレンジなど炎の近く、引火性ガスのある所 感電やショート・発火の原因となります。</p>
	<p>● ベースを取り付ける前に運転しない。 不安定なため転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。</p>
	<p>● ベースが破損した場合は使用しない。 本体が外れて落下し、けがや破損・感電の原因となります。</p>
	<p>● 本体を水につけたり、本体に水をかけたり、洗ったりしない。 ショート・感電の原因となります。</p>
	<p>● 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。 ● 延長コードを使用しない。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。</p>
	<p>● 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。</p>
	<p>● 電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。 火災の原因となります。</p>
	<p>● お手入れの際は、必ず「電源」スイッチを[切]にして電源プラグを抜いてから行う。 感電ややけどをすることがあります。</p>
	<p>● 電源コードを傷つける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・重いものを載せる・はさみ込む・ハンドドライヤーの下を通すなどしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>● 電源コードを本体に巻き付けない。 電源コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因となります。</p>
	<p>● AC100V 以外では使用しない。(日本国内専用) 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電やけがをすることがあります。</p>
	<p>● 発熱器具の近くに置かない。 樹脂部分が溶けて引火する原因となります。</p>

安全上のご注意

⚠ 注意

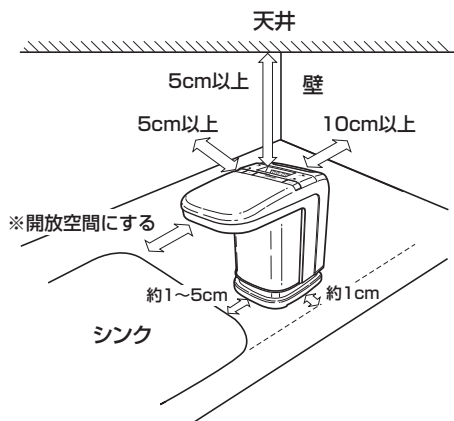
	●本体にタオルやふきんなどをかけて使用しない。 過熱して発火の原因となります。
	●使用中や使用後、送風が止まるまで電源プラグを抜かない。 けがややけど、故障の原因となります。
	● <u>手の乾燥以外の用途に使用しない。</u> 故障の原因となります。
	●子どもだけで使用させない。 けがややけどの原因となります。
	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 感電やショートして発火することがあります。
	●長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。
	●吹出ノズルや吸込口のすき間に指を入れない。 やけどやけがの原因となります。
	●強い衝撃や振動を与えない。 故障の原因となります。
	●フィルターを取り外したまま使用しない。 本体内にごみやほこりなどを吸い込み、故障して発火や過熱する原因となります。
	●本体を横にねかせて使用しない。 故障や事故・ケガの原因となります。
	●本体の上に物を置かない。 故障の原因となります。
	●吹出ノズルや吸込口を、障害物やテープなどでふさがない。 故障や事故の原因となります。
	●油・お湯・水・粉類・調理物などをそばに置かない。 風が当たって周囲を汚したり、やけどの原因となります。
	●本体・電源コードに酸性・アルカリ性・塩素系・柑橘類の洗剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤をかけない。 故障や破損の原因となります。
	●十分な強度のある水平で安定した場所・吸盤がしっかりと吸着する場所に設置する。 落下すると、故障やケガの原因となります。

知っておいていただきたいこと

設置について

- 次のような場所では使用しないでください。
 - ・ 0℃未満になる場所
 - ・ 40℃以上になる場所
 - ・ 直射日光やスポットライトなど強い光があたる場所
 - ・ ガスコンロの近く
 - ・ 油煙や油の飛沫が多い場所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 結露する場所
 - ・ 湯気があたる場所
 - ・ 本体に直接水がかかる場所
 - ・ 乗り物など振動のある場所
 - ・ 屋外
 - ・ 本体が回転した時にキッチン台からはみ出さない場所
動作不良や故障の原因となります。
- 十分な強度のある水平で安定場所に設置してください。
- ベース底面の吸盤がしっかりと吸着する場所に設置してください。
- 必ず本体をベースに固定してから使用してください。

- 吹出ノズルや吸込口をふさがないようにしてください。
- 壁や障害物・天井から5cm以上、後部は10cm以上離して設置してください。前面は開放空間にしてください。
- 壁や障害物・天井から5cm以上（後部は10cm以上）離して設置してください。前面は開放空間にしてください。
- 風がシンクに入るように設置してください。



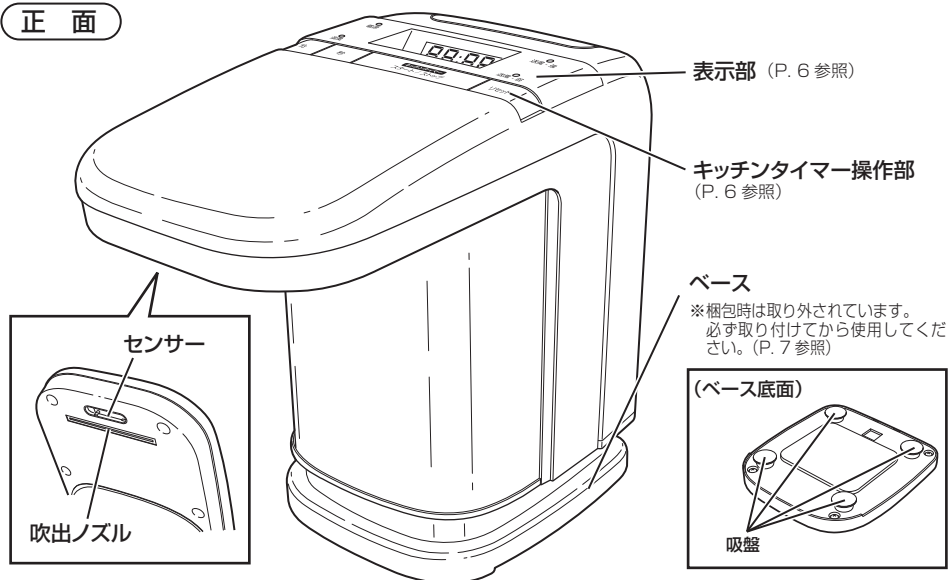
フィルターについて

- 性能を維持するために、定期的にお手入れをしてください。(P.11 参照)
- フィルターが破損したり、お手入れをしても汚れや目詰まりがひどり場合は、新しいフィルター（別売）と交換してください。(P.13 参照)

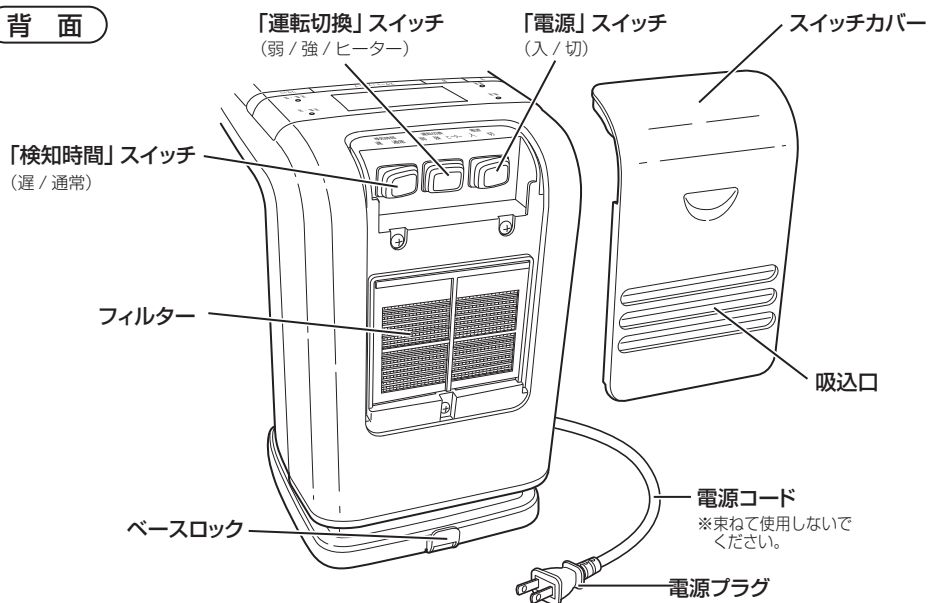
各部のなまえ

本体

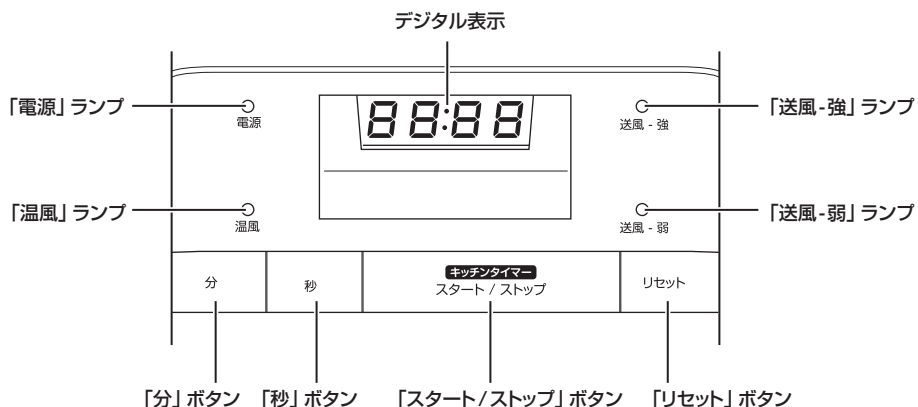
正面



背面



表示部/キッチンタイマー操作部



付属品

- 取扱説明書（本書）



- 保証書



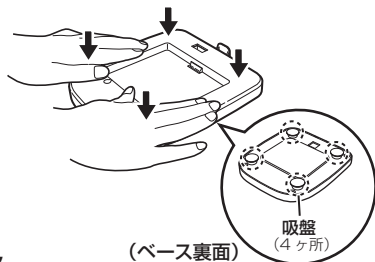
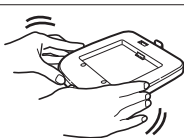
設置のしかた

⚠ 警告

- ベースを取り付ける前に運転しない。
本体が転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。

1 設置場所にベースを置いて上から押さえ、底面の吸盤をしっかりとは吸着させます。

- 動かして固定されていることを確認してください。



※ 吸盤が吸着しない場所に設置する場合は、別売のベース (KAT-001) をお買い求めください。(P. 13 参照)

で注意

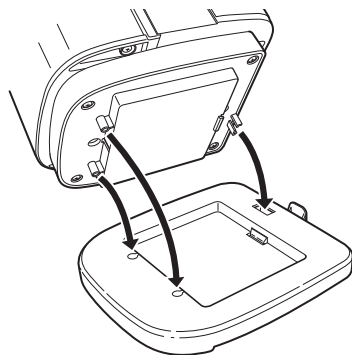
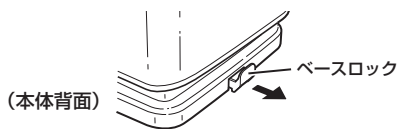
- 十分な強度のある水平で安定した場所に設置してください。
落下すると、故障やケガの原因となります。
- 吸盤や吸着面の汚れやほこりは取り除き、しっかりと吸盤が吸着する場所に設置してください。
- 吸盤は真空の力を利用して取り付ける為、空気が入ると外れやすくなります。
- 吸盤に水を付けないでください。
吸盤に水分を少量付着させることで瞬間的に吸着力が上がりますが、吸盤の能力低下を招いたり、吸盤が滑ってしまうことで、落下による破損や事故の原因になることがあります。
- 吸盤が変形や破損したり吸着力が無くなった場合は、新しいベースに取り替えてください。(P. 13 参照)

2 本体底面の凸部をベースの凹部に合わせ、はめ込みます。

- 本体がベースに固定 (ロック) されます。

本体をベースから取り外すときは

ベースロックを引き出してロックを解除し、本体を持ち上げて取り外します。

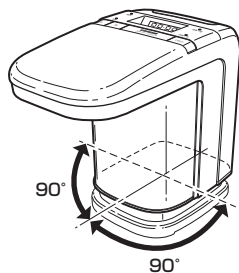


本体の角度調節について

お好みで本体を回転させて角度を変えることができます。
※ 本体を回転させる時は、P. 4の「設置について」を参照してください。

で注意

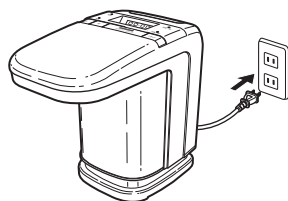
- 熱湯や加熱した油、飛散する物の近くで回転させないでください。
- 本体やベースが外れないよう充分に注意して行ってください。
落下してけがや故障の原因となります。
- センサー部を持って本体を回転させないでください。
誤作動の原因となります。



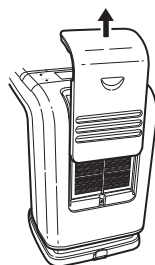
ご使用前の準備

1 本体を確実に設置します。(P. 7 参照)

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

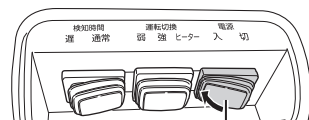


3 スイッチカバーを取り外します。



4 「電源」スイッチを[入]にします。

- 「電源」ランプと「送風-強」ランプが点灯します。

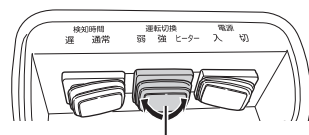


「電源」スイッチ

5 「運転切換」スイッチで、お好みの風に設定します。

- 初期設定は[強]に設定されています。

運転切換設定	動作	点灯ランプ
強	風量：強	「送風-強」ランプ
弱	風量：弱	「送風-弱」ランプ
ヒーター	温風・風量：弱	「温風」ランプ・「送風-弱」ランプ



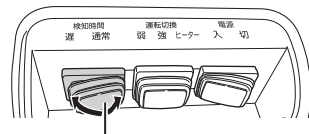
「運転切換」スイッチ

※[ヒーター]を選択した場合は、常に風量[弱]で運転します。

6 「検知時間」スイッチで、お好みの検知時間に設定します。

- 初期設定は[通常]に設定されています。
- [遅]に設定すると、手などが誤ってセンサーを通過したとき運転してしまうことを低減します。

検知時間設定	動作
通常	センサーが手を検知後、約 1 秒以内に運転開始
遅	センサーが手を検知後、約 3 秒後に運転開始



「検知時間」スイッチ

7 スイッチカバーを取り付けます。

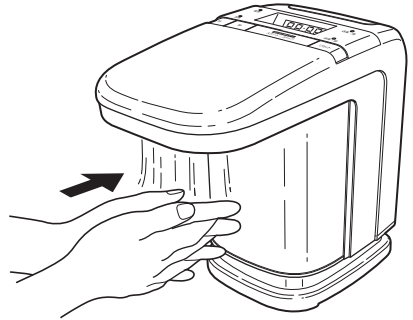
正しい使いかた

■手の乾かしかた

1 手を吹出ノズルの下へ入れます。

- 自動的に風が吹き出します。

2 手の甲や手のひらをノズルに向けて水滴を落とし、手もみしをして水気を乾かします。



ご注意

- 手に洗剤や薬品などがついたまま使用しないでください。
- 水を流した状態やシンクに水を溜めた状態では使用しないでください。
水がはね、周囲を濡らすことがあります。
- 手の乾き具合は、室温や湿度、手の濡れ具合によって変化します。
- 手の乾燥以外の用途に使用しないでください。

※長期間ご使用にならないときは、「電源」スイッチを[切]にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

自動運転停止機能 (いたすら防止機能) について

いたすら防止のために、約40秒連続して使用すると、自動的に運転を停止します。

続けて使用する場合は、いったん手を引いてから再度手を吹出ノズルの下へ入れてください。

センサー感知エリアについて

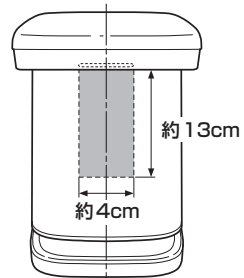
センサーの感知エリアは右図の通りです。

※手の入れかたにより、センサーが感知しないことがあります。

風が吹き出さない場合は、手をセンサーに近づけて、左右に動かしてください。

※センサーが汚れていると、感知不良や誤動作の原因となります。
こまめにお手入れをしてください。

※センサー感知エリアに障害物があると、手を入れても動作しないことがあります。
障害物を取り除いてください。

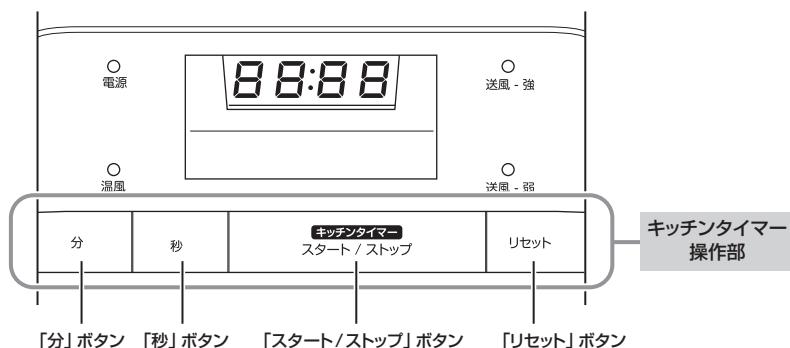


■キッチンタイマーの使いかた

1 キッチンタイマー操作部の「スタート/ストップ」ボタン、または「リセット」ボタンを押します。

- デジタル表示が点灯します。

※点灯後、約3分間ボタン操作をしなかった場合、デジタル表示が消灯します。
(タイマー時間が設定されている場合、デジタル表示は消灯しません。)



2 「分」ボタン・「秒」ボタンを押して、タイマー時間を設定します。

- 10秒～99分50秒まで10秒単位で設定できます。
- 「分」ボタンを押すと1分単位で設定できます。長押しすると、10分単位で99分まで早送りできます。(10→20→30→40→50→…99分)
- 設定を間違えた場合は、「リセット」ボタンを押して、再度設定してください。

3 「スタート/ストップ」ボタンを押します。

- カウントダウンがはじまります。

デジタル表示 (例)タイマーを5分30秒に設定後、1秒経過



- 設定時間が経過すると、「ピピッ」と電子音が鳴ります。
- 「スタート/ストップ」ボタンを押すと電子音が停止します。
(押さない場合は、約1分間電子音が鳴り続けます。)
- 電子音停止後、約2分経過すると、デジタル表示が消灯します。

タイマー設定を取り消すときは

「リセット」ボタンを押します。

お手入れのしかた

※お手入れは「電源」スイッチを[切]にして電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

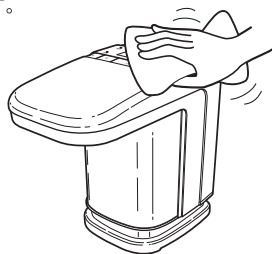
●お手入れは1週間に1回程度が目安ですが、使用頻度が高い場合はこまめに行ってください。

本体・センサー・ベース

- ・薄めた台所用洗剤(中性)にやわらかい布などを浸してしぼり、汚れを拭き取ります。そのあと、洗剤が残らないように、乾いた布でもう一度拭き取ってください。
- ・センサーはこまめにお手入れをしてください。

ご注意

- 本体の水洗いはしないでください。
感電や故障の原因となります。
- ブラシやたわし、研磨剤などで絶対にこすらないでください。
故障や破損、誤動作の原因となります。
- シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤や酸性またはアルカリ性や塩素系、柑橘系などの植物系の洗剤は絶対に使用しないでください。
本体やベースを傷めます。また変色、変形、破損の原因となります。

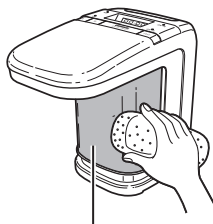


ステンレスカバー

- ・水でぬらしたやわらかい布で拭いた後、から拭きしてください。

ご注意

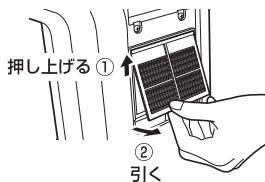
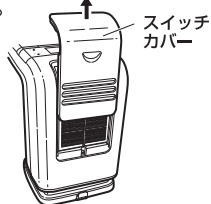
- 洗剤、水などが残らないように、十分から拭きしてください。
放置しておくと、サビの原因となります。
- 紙やすり、スチールウール、ステンレス製タワシなどは使用しないでください。
ステンレスを傷めます。



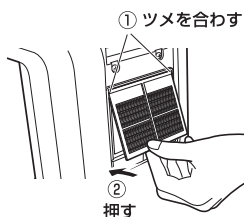
ステンレスカバー

フィルター

- 1 スイッチカバーを取り外します。
- 2 フィルターを取り外します。
- 3 フィルターについてごみやほこりなどを掃除機で吸い取ります。



- 4 フィルターのツメと本体の凹部を合わせて、元通りにセットします。
- 5 スイッチカバーを取り付けます。



ご注意

- フィルターはこまめにお手入れをしてください。
ごみやほこりなどで目詰まりすると、風量が低下することがあります。
- フィルターは水洗いしないでください。
雑菌が繁殖する恐れがあります。
- フィルターを取り外したまま使用しないでください。
本体内にごみやほこりなどを吸い込み、故障の原因となります。

保管のしかた

- お手入れしたあと、よく乾燥させてください。
- 本体をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れて、直射日光の当たらない湿気の少ないところに保管してください。

ご注意

- 電源コードを本体に巻きつけないでください。電源コードが断線して、感電や火災の原因となります。

故障かな?と思われたときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のある場合は、商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

このようなとき	点検	処置のしかた	参照ページ
手を入れても風が出ない	●ご家庭のブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを点検してください。	—
	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	P. 8
	●「電源」ランプが消灯していませんか？	「電源」スイッチを[入]に設定してください。	P. 8
	●センサーが汚れたり水滴や異物が付着していませんか？	センサーのお手入れをしてください。	P. 11
	●センサー感知エリアに障害物を置いていませんか？	障害物を取り除いてください。	P. 9
手を入れていないのに風が出る	●センサーが汚れたり水滴や異物が付着していませんか？	センサーのお手入れをしてください。	P. 11
	●センサー感知エリアに障害物を置いていませんか？	障害物を取り除いてください。	P. 9
	●湯気があたっていませんか？	「設置について」をお守りいただき、正しく設置してください。	P. 4
	●直射日光やスポットライトなどの強い光があたっていませんか？		
	●腕や衣類の袖がセンサー感知エリアに入っていないですか？	センサー感知エリアに腕や衣類の袖が入らないようにしてご使用ください。	P. 9
風が弱い	●フィルターがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？	フィルターのお手入れをしてください。	P. 11
	●「送風-弱」ランプが点灯していませんか？	「運転切換」スイッチを「強」に設定してください。	P. 8
	●「温風」ランプと「送風-弱」ランプが点灯していませんか？	「運転切換」スイッチを[ヒーター]に設定した場合は、常に風量[弱]で運転します。(故障ではありません。)	—
風が温かくならない	●「温風」ランプが消灯していませんか？	「運転切換」スイッチを[ヒーター]に設定してください。	P. 8
	●手を入れた直後ではありませんか？	温風が出るまでに約20秒かかります。(故障ではありません。)	—
風が途中で止まる	●40秒連続で使用していませんか？	自動運転停止機能(いたすら防止機能)が作動しています。いったん手を引いてから再度手を吹出ノズルの下へ入れてください。	P. 9

仕様

電源	AC100V 50/60Hz共用		
外形寸法	約305(幅)×165(奥行)×275(高さ)mm		
質量	約4.2kg		
電源コードの長さ	約2.3m		
運転モード	風量[強]	風量[弱]	ヒーター (風量[弱])
消費電力	500W	250W	650W
運転音	約69.5db	約61.5db	約61.5db
付属品	取扱説明書(本書)、保証書		

※「電源」スイッチを【入】に設定していると、約0.2Wの電力を消費しています。

※運転音は無響室にて測定(前方2m、左右2mの平均値)

別売部品について

別売部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名称	品番
フィルター	KAT-011
ベース(ゴム脚タイプ) ※吸盤が吸着しない場所への設置にご使用ください。	KAT-001
ベース(吸盤タイプ)	KAT-002

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼される時

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ハンドドライヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用のハンドドライヤーの点検を！



このような
症状は
ありませんか

- 電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 電源プラグ・電源コード・本体が異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わること相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2015年12月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)